

2013年2月26日

日経BP社「第6回 クラウドランキング」において 「ベストブランド」と「ベストサービス」に選出

NTTコミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、日経BP社(本社:東京、代表取締役社長:長田公平)が2013年2月26日に発表した「第6回クラウドランキング」において、「ベストブランド(13社)」と「ベストサービス(53サービス)」に選出されました。これにより、NTT Comは、第1回クラウドランキング以降、連続してベストブランド・ベストサービスに選出されたこととなります。

NTT Comは、2011年10月に策定した「グローバルクラウドビジョン」のもと、世界中に分散したサーバーの統合をはじめ、ネットワーク、アプリケーション、音声、セキュリティなどICTシステム全体をまとめて最適化する「グローバルトータルICTアウトソーシング」を提供し、お客さまのグローバルビジネス展開をサポートしていきます。

<選出内容>

- ・ベストブランド
NTT Com
- ・ベストサービス クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)部門
NTT Com「Bizホスティング」
- ・ベストサービス 汎用情報系 SaaS 部門
NTT Com「Bizマネージドセキュリティサービス」
- ・ベストサービス 汎用業務系 SaaS 部門
NTT Com「Salesforce over VPN」
- ・ベストサービス プライベートクラウド構築支援サービス部門
NTT Com「クラウドマイグレーションサービス」
- ・ベストサービス データセンター部門
NTT Com「NTTコミュニケーションズ データセンター」



(参考1) 第6回クラウドランキングの概要

日経BP社のIT系総合メディアである日経コンピュータとITproは共同で「第6回クラウドランキング」を制定しました。クラウド時代をリードするとの期待を集めるベンダーを「ベストブランド」に、クラウドらしく移行もしやすいサービスを「ベストサービス」に選定し、参入相次ぐクラウドコンピューティング市場でユーザーの指針となることを目指しました。

ベストブランドは5,934人から有効回答を得たアンケート調査を基にクラウドベンダーとしての認知度と、技術力や信頼性などのイメージを総合評価して選びました。第6回クラウドランキングでは、クラウド関連で事業展開をするベンダー200社の中から13社を「ベストブランド」に選出しました。

ベストサービスはベンダー213社に依頼したアンケート調査から、クラウド関連サービスの仕様を詳しく調べた結果に基づいて選びました。評価は「クラウドらしさ」と「既存システムからの移行のしやすさ」、「情報公開の程度」などを重視して一定の基準で実施しました。

「ベストサービス」には①クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)、②汎用業務系SaaS、③汎用情報系SaaS、④特定業種業務向けSaaS、⑤パブリッククラウド導入支援サービス、⑥プライベートクラウド構築支援サービス、⑦データセンター——の7部門で53サービスを選出しました。

クラウドランキングは2010年9月発表の第1回、2011年3月発表の第2回、2011年9月発表の第3回、2012年2月発表の第4回、2012年10月発表の第5回に続き、今回が第6回です。

(参考2) 第5回クラウドランキング選出内容(2012年10月9日発表)

・ベストブランド

NTT Com

・ベストサービス クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)部門

NTT Com「Bizホスティング」

・ベストサービス 汎用情報系 SaaS 部門

NTT Com「Bizマネージドセキュリティサービス」

・ベストサービス 汎用業務系 SaaS 部門

NTT Com「Salesforce over VPN」

・ベストサービス プライベートクラウド構築支援サービス部門

NTT Com「クラウドマイグレーションサービス」

・ベストサービス データセンター部門

NTT Com「NTT コミュニケーションズ データセンター」